

ドングリ調査票

調査期間

令和元年9月14日(土)～11月30日(土)

報告期限 令和元年 12月 13日(金)

【あなたの名前

調査日	メッシュ地図 住所(出来るだけ詳しく)	調査場所について 環境の種類	ドングリの形	殻斗の状態	ドングリの名前 (名前を書け)	その他 気が付いたこと Q1. 殻斗の色、葉の形、木の色(木肌) など Q2. 何故ここにドングリの木があると考えますか
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	
/		ヤマモミ 山、田畑、川沿い みぎ 道沿い、公園、学校 しんじ 社寺、他( )	(○)でかこむ まる 丸い 細長い さんかく 三角灘 ほか 他( )	もしやもしや うろこ模様 よこしま模様 剥ける 不明	( )・不明	

# ドングリ調査 感想用紙 【おなまえ】

調査員の皆様、約2ヶ月半に渡り調査をしていただき、ありがとうございました！

調査を終えて、環境を見る目にどこか変化は芽生えましたでしょうか？

こんなものを見つけた、あんなことに驚いた等、感じたことを何でも記載してください！

なお、こちらでいただきました感想は、調査員の方々や市民の皆様に共有できるよう、報告書に掲載させていただきます。（氏名は掲載しません。）

たくさんのご感想お待ちしております！！



# 令和元年度 調査結果

## 調査結果の概要

本報告書は、一般募集による171名の登録市民調査員の皆様が、任意の場所で確認したドングリの木（正確にはブナ科の木。以下、ドングリの木とします）の調査結果をまとめたものです。今年度は、81名の方（ドングリ調査票を提出していただいた方の人数）から報告をいただきました。

なお、地域によって市民調査員数や報告件数、観察方法に違いがあることから、多い・少ない等を単純に比較することはできません。

報告件数は、述べ1,007件で、総本数は1,620本でした。（市外報告2件、対象外の木の報告5件、特定性が高く、明らかに重複した木の報告3件を除く）

### 《注意事項》

結果の解析にあたって、調査員の皆様からいただいた報告を、以下のように反映させました。

1. 学区区分については、報告にあったメッシュコードから各学区に振り分けました。
2. メッシュコードの記載がなかったものについては、見つけた場所の情報等からメッシュコードを特定し、入力させていただきました。
3. 環境の種類において、複数の項目を選んでいただいた報告が多数ありましたので、周辺の環境と照合し、主な環境が何であったかによって調整をしました。  
例)「山」かつ「道沿い」→山道であれば「山」、主要道路沿いであれば「道沿い」など
4. ドングリの特定については、ドングリの形や殻斗の状態から考え、明らかに間違いであるもの以外、いただいた内容のままでまとめております。なお、「？」マークのあったものや「2種類の内のどちらか」等の記載があったものについては、他の情報から特定を行うか不明としました。
5. 本数については、数本、多数等の報告がありましたので、おおよその数として下記のとおり計上しました。  
例) 数本、いくつか、いくつも→5本、多数、いっぱい、たくさん→10本、  
十数本→15本
6. 大津市外の報告については、残念ながら含めておりませんが、市外にも足をのばしていただきまして、ありがとうございました。
7. 今回調査対象外であったドングリの木については残念ながら含めておりません。しかしながら、近江神宮のハナガカシ、びわ湖大津館のイングリッシュオーク、東洋紡株式会社総合研究所のヨーロッパナラにつきましても情報提供いただきまして、ありがとうございました。
8. 東洋紡株式会社総合研究所にあるツブラジイは、市で保護樹木に指定しています。こちらは1本であることが明確であるため、保護樹木と明記されている場合には本数を調整しております。
9. 報告本数や件数において、上記と数値が合っていない箇所がございます。こちらについては空欄回答であり、かつ照合ができなかったものになります。

## ①種類別報告結果

今回の調査対象とした20種類のドングリは、全種類が報告されました。

表1及び図1～3から、以下のとおり考察しました。

まず、報告件数から、コナラ・クヌギ・アラカシ・シラカシの4種類が100件近くと、多く見つかったことがわかります。この要因として、コナラやクヌギは山や林などに自生していることが多いことが挙げられます。また、アラカシやシラカシは滋賀県内で多く自生しているドングリの木であるとともに、アラカシは多くの寺社に保存され、シラカシは公園や道路沿いに植栽されていることが大きな要因ではないかと考えられます。

また、アベマキ・シラカシ・マテバシイ・シリブカガシ・スダジイは、1報告あたりの本数が多いことが報告されています。アベマキは山地に自生しているものの公園樹や街路樹として、シラカシ・マテバシイ・シリブカガシも公園樹や街路樹として使われていること、スダジイは寺社に多く保存されていることから、これらの木が多く生存している場所が存在するということと言えます。

表1 種類別報告数

種類	報告件数(件)	構成比率	報告本数(本)	構成比率	1報告あたりの本数(本)
コナラ	132	13.1%	181	11.2%	1.4
ミズナラ	21	2.1%	21	1.3%	1.0
クヌギ	151	15.0%	268	16.5%	1.8
アベマキ	34	3.4%	71	4.4%	2.1
カシワ	1	0.1%	1	0.1%	1.0
ナラガシワ	11	1.1%	11	0.7%	1.0
アラカシ	270	26.8%	448	27.7%	1.7
シラカシ	94	9.3%	197	12.2%	2.1
アカガシ	9	0.9%	9	0.6%	1.0
ツクバネガシ	8	0.8%	8	0.5%	1.0
ウラジロガシ	12	1.2%	12	0.7%	1.0
イチイガシ	15	1.5%	15	0.9%	1.0
ウバメガシ	7	0.7%	7	0.4%	1.0
マテバシイ	51	5.1%	115	7.1%	2.3
シリブカガシ	7	0.7%	20	1.2%	2.9
スダジイ	28	2.8%	58	3.6%	2.1
ツブラジイ	23	2.3%	28	1.7%	1.2
クリ	92	9.1%	101	6.2%	1.1
ブナ	11	1.1%	19	1.2%	1.7
イヌブナ	1	0.1%	1	0.1%	1.0
不明	29	2.9%	29	1.8%	1.0
合計	1007	100%	1620	100%	1.6

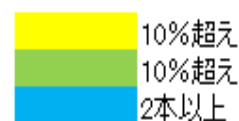


図1 種類別報告件数

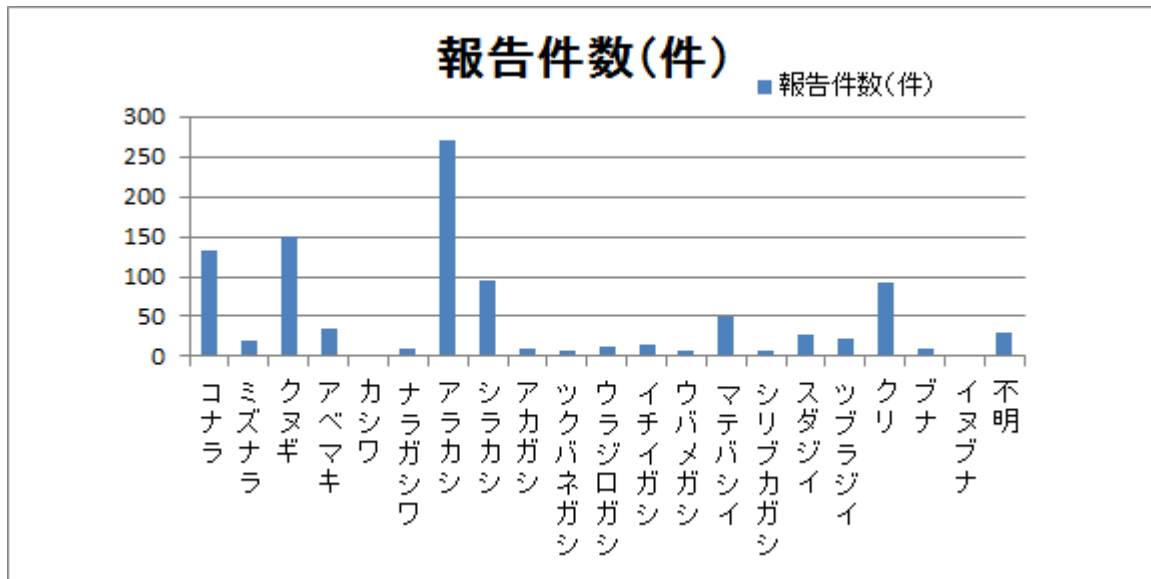


図2 種類別報告本数

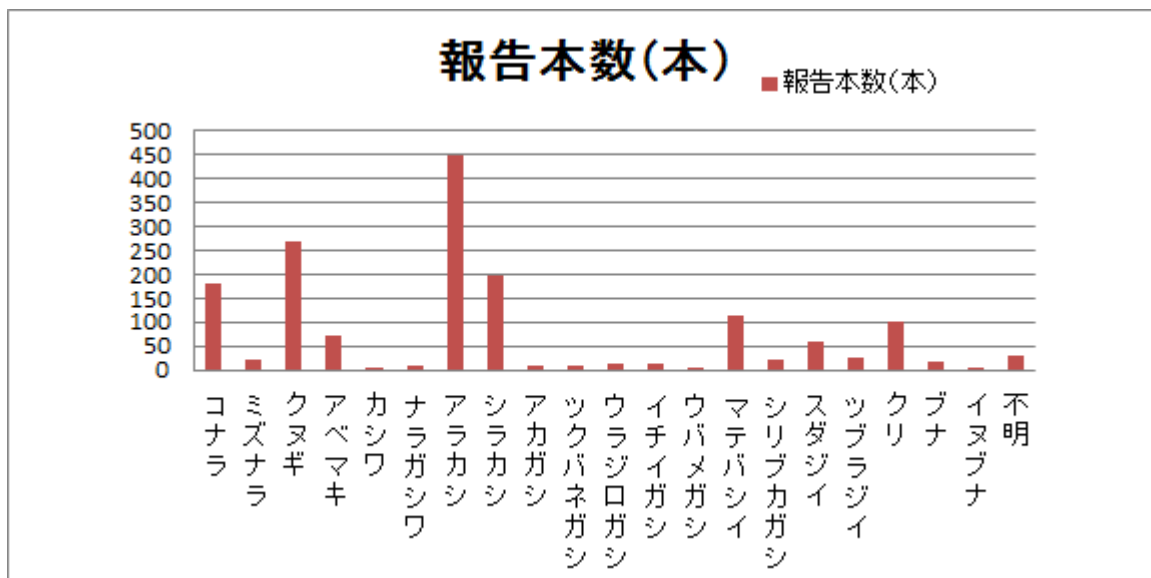
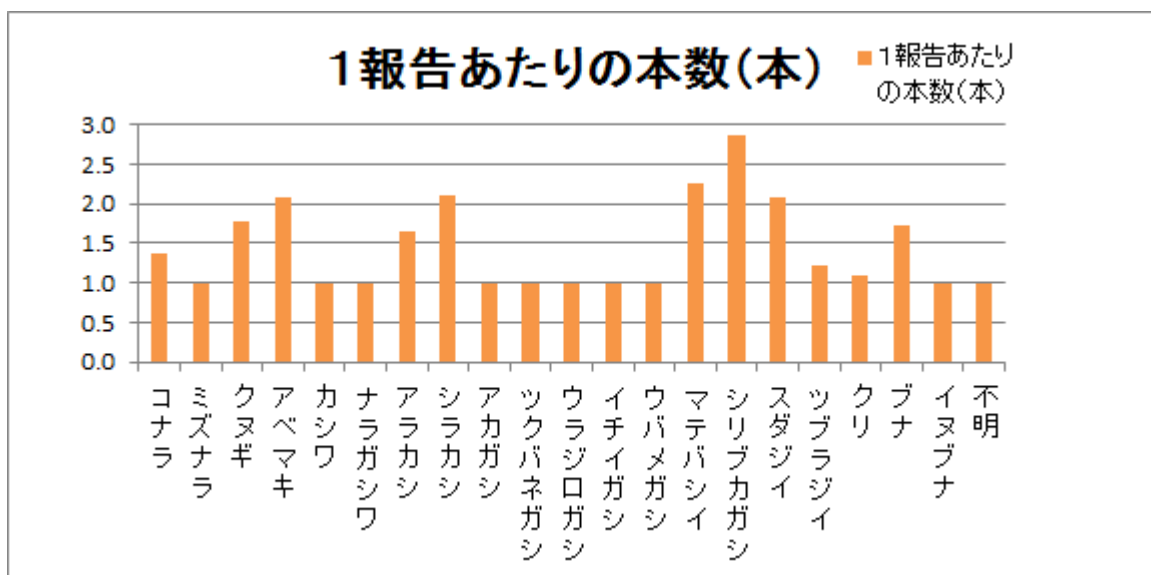
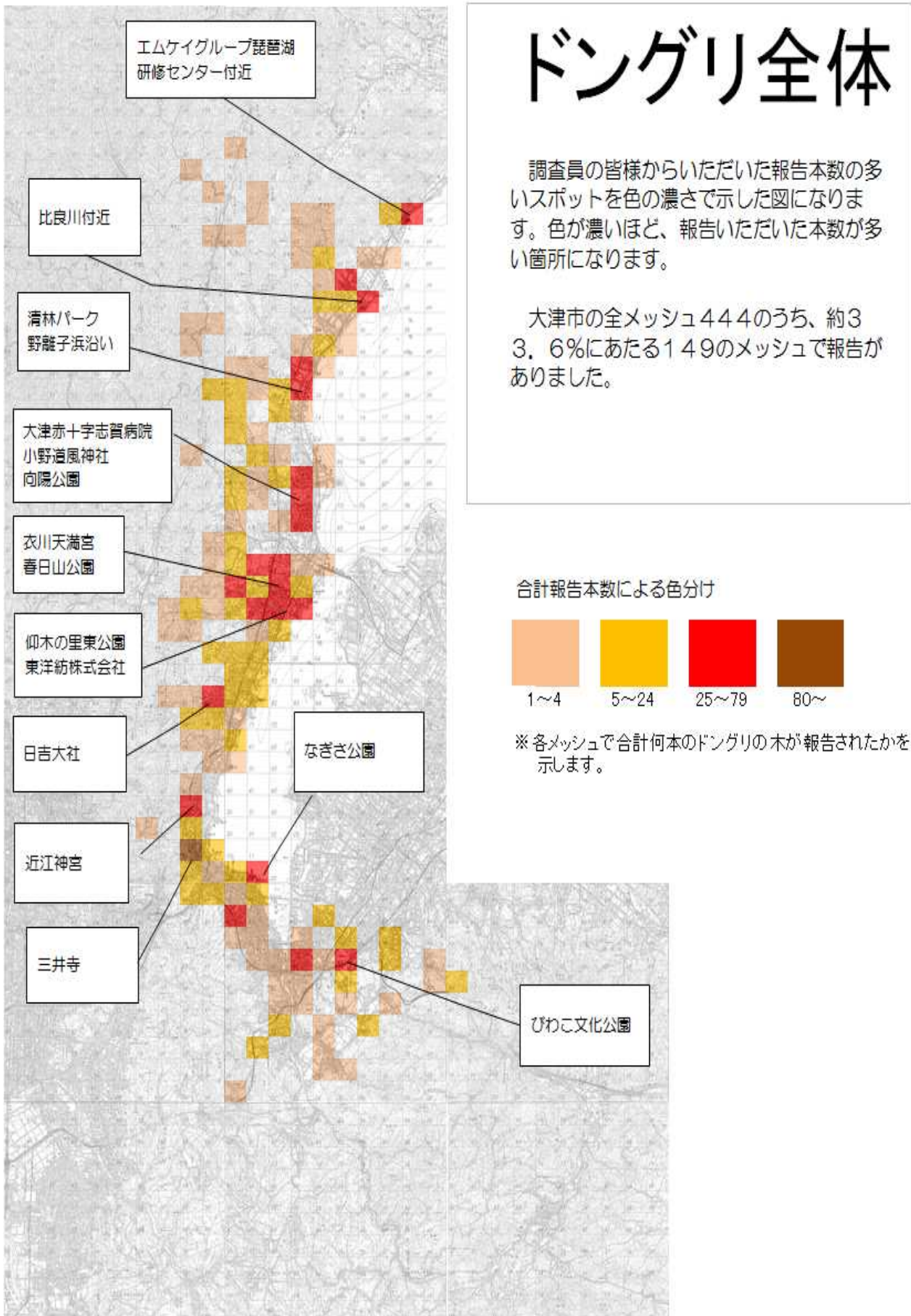


図3 種類別1報告あたりの本数



## ②メッシュ別報告結果

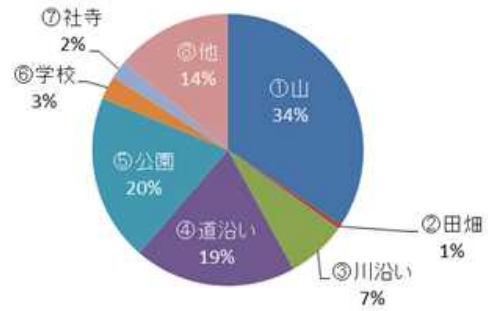
大津市内のどのような場所で、ドングリの木がつけられたかをまとめました。



# コナラ

181本の報告があり、山や道沿い、公園に多く分布しています。また、住宅地の公園よりも、山に近い公園に自生していることが多いようです。

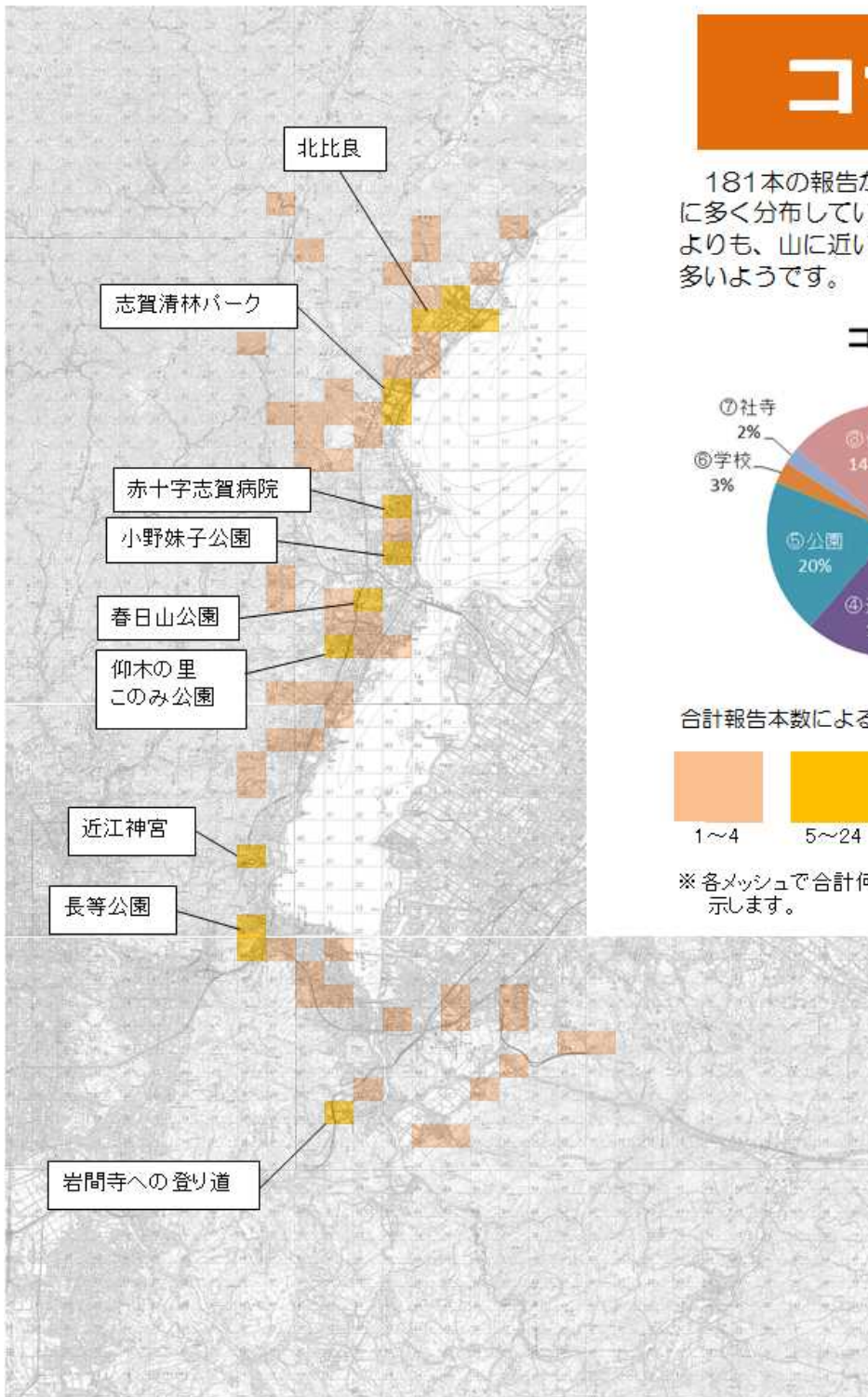
## コナラ



合計報告本数による色分け

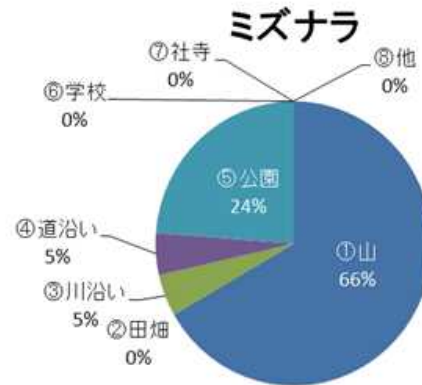


※各メッシュで合計何本のドングリの木が報告されたかを示します。



# ミズナラ

21本の報告があり、山に次いで公園で多く分布しています。また、北部の山や南部の瀬田にあるびわこ文化公園において存在しています。



合計報告本数による色分け



※ 各メッシュで合計何本のドングリの木が報告されたかを示します。

